

ごみ拾いをしながら
歩く水沢高野球部員



水沢高硬式野球部

100キロごみ拾いの旅

盛岡・県営球場 ↓ 奥州・同校

水沢高硬式野球部（部員22人）は25、26の両日、100キロボランティアウォークを行い、ごみ拾いをしながら体力やチームワークを高めた。

盛岡市三ツ割の県営球場を出発し、奥州市水沢の同校を目指す2日間。26日は花巻市松園町の花巻球場をスタートし、金ケ崎町西根のしんきん森山スタジアムでは周辺

を清掃した。

同ウォークは3回目。2022年度で閉鎖する県営のほか、花巻、森山の各球場もコースに入れ、感謝を込めて作業した。

松本貫太主将（2年）は「自治体ごとにごみの種類が異なるのが面白かった。きつい部分もあるが、100キロ歩くことで困難を乗り越える力を身に付けたい」と力を込めた。